

戸田市教育委員会会議録		
招集期日	令和6年7月18日(木)	
場所	戸田市役所 教育委員室	
開会	7月20日 午前	9時30分
閉会	7月20日 午前	11時20分
教育長	戸ヶ崎 勤	
教育長・ 委員 出席 状況	戸ヶ崎 勤	出席
	仙波 憲一	出席
	木村 雅文	出席
	長道 修	出席
	浜田 美咲	出席
説明員 (出席者)	川和田教育部長、梶山参事、片境次長	
	金澤教育総務課長、河西学務課長、杉森教育政策室担当課長	
	増澤学校給食課長、鎌田生涯学習課長、高屋生涯学習課長	
書記	教育総務課総務担当 我妻副主幹	
傍聴人	3名	

会議の経過及び結果

教育長

私の facebook にも掲載し、5月のこの定例会の場でも触れましたが、不朽の名著であり、1948年から53年まで中学校と高校で用いられた文部省の『民主主義』の教科書の内容についてです。5月は「報道に対する科学的考察」という内容について触れました。今回は、p.340からの「学校教育の刷新」という内容です。一部を引用いたします。

「これまでの日本の教育は、一口でいえば、『上から教えこむ』教育であり、『詰めこみ教育』であった。先生が教壇から生徒に授業をする。生徒はそれを一生けんめいで暗記して試験を受ける。生徒の立場は概して受け身であって、自分で真理を学びとるという態度にならない。生徒が学校で勉強するのは、よい点を取るためであり、よい成績で卒業するためであって、ほんとうに学問を自分のものにするためではなかった。よい成績で卒業するのは、その方が就職につごうがよいからであり、大学で学ぼうというのも、主としてそれが立身出世のために便利だからであった。そのような受け身の教育や、手段としての勉強では、身についた学問はできない。それどころか、多くの人々は、試験が済んだり、学校を出たりすると、それまで勉強したことの大半は忘れてしまうというふうでさえあった。」

今から76年前に指摘されていたことですが、現在の令和時代の学校でも、相も変わらず当時と同じような授業風景等が行われているところがあるのは衝撃的な事実です。その当時は想像も付かなかったタブレットを使って、外から見れば授業改革は大きく進んでいるように見えますが、中から見ても当時とは違うと自信を持って言えるでしょうか。

これまでも散々指摘されてきたことですが、「授業を進める」ことが「学びを保障する」ことになっているとは限りません。教えたからといって、子供たちが学んでいるとは限りません。教師はついタクト

	<p>を振って教えがちになります。教師や学校は、子供をもっと信頼し「子供離れ」をしていく必要があります。子供はもともと優能な学び手で、環境さえ整えば、自ら進んで学び深めていく存在だと、子供観を変えることが必要です。先生方はファシリテーターや伴走者になっていくべきです。子供を信頼して任せつつ、必要なところできちんと支援することが大切です。国の会議でよく御一緒し、昨日も御指導いただいた京都大学の石井英真先生は次のように述べておられました。</p> <p>「学校での学習の文脈はあまりに生活の文脈とかけ離れすぎていて、学校の外で生きて働かない『学校知学力』を形成することになってしまっており、知識・技能やスキルを学ぶにしても、それらを生かす必然性や学びの有意義性を重視する必要がある。そのためには、教科等の一番おいしいプロセスを子供たちに委ねる『教科する (do a subject)』授業へ転換していく必要がある。つまり、学問の匂い、本物の匂いのする、質が高くて深くて重い授業を展開していく必要があるのではないか。」</p> <p>私も全く同感であり、市内小中学校の授業がそうなるよう、今後も指導・支援してまいります。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、ただ今から、令和6年第7回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>了承</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、会議録に御署名をお願いします。</p>
<p>各委員</p>	<p>署名</p>
<p>教育長</p>	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、個人情報、公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととして</p>

	<p>よろしいかお諮りいたします。</p> <p>報告第4号 戸田市海外留学奨学資金等受給者選考委員会委員の委嘱について</p> <p>報告第5号 教職員の人事について</p> <p>報告第6号 戸田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について</p> <p>報告第7号 戸田市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について</p> <p>報告第8号 戸田市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p> <p>報告第9号 戸田市立図書館運営協議会委員の委嘱について</p> <p>報告第10号 戸田市立郷土博物館協議会委員の委嘱について</p> <p>議案第19号 令和6年度一般会計・特別会計（教育委員会関係）9月補正予算（案）について</p>
各委員	（異議なし）
教育長	それでは「報告第4号から10号及び議案第19号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教育長	<p>では、「教育委員提案」について御報告いたします。</p> <p>長道委員から御提案のありました「教育委員提案 ICT支援員の戸田市における実態と効果的活用について」事務局より説明願います。</p>
説明員	<p>長道委員から御提案のありましたICT支援員の戸田市における実態と効果的活用について御説明いたします。</p> <p>2ページを御覧ください。ICT支援員の業務内容については大きく2点あります。1点目が本市の児童生徒のICTリテラシーの向上です。特に初めて1人1台端末を活用する授業や、初めてのプログラミング授業といった場面にあわせて指導補助に入っています。2つめは教師のICTを活用した指導力向上のため、教材提供や、授業実践の共有を</p>

実施しています。今年度はベネッセコーポレーションに委託し、各学校月2回、年24回支援を実施しています。

3 ページ。具体的な業務については、次のようになります。教師とともにチームで指導にあたる授業支援や教師への教材の提案、作成支援。教職員向けの ICT 研修会の講師も行っています。その他、新たに導入される PC 及び周辺機器の操作支援や、簡単なマニュアル作成なども行い、現場の教職員の負担軽減につながっています。ホームページの更新支援も行っています。

4 ページ。令和5年度の授業支援の一部を御紹介いたしますと、小学校1年生が初めて1人1台端末を使用する授業や、プログラミングの授業、ミライシードなどの各種アプリを初めて使うタイミングに合わせて、サポートに入っております。

5 ページを御覧ください。また、昨年度は戸田市の ICT 環境が大きく変わったことを受け、電子黒板機能付きプロジェクタやホワイトボード、教職員用の 2in1 パソコンの機器操作について、研修や説明等を行っております。

6 ページ。こちらは令和5年度の教職員に対して実施した満足度調査の結果になります。令和4年度と比べ、回答数は減っておりますが、おおよその先生方が満足と回答しています。

7 ページ。管理職と一般の先生を分けての回答がこちらになります。特に ICT 支援員からの積極的な授業提案や、まだ慣れない先生にとってのプログラミング授業のサポートなどについて満足度が高く出ております。一般の教師は全員が満足と回答しています。

8 ページ。こちらが現場の声です。「最新の情報をお持ちで、新しい授業アイデアの相談等に親身になって乗ってくれる。コミュニケーションも積極的にとってくれるので大変助かっている。」「ICT を活用した学習や、ICT 機器の使用法について、一緒になって考えてくれるため、教員が大変助かっている。」「プログラミング学習や ICT 教材の

	<p>紹介を積極的にしてくれるため、学習を効果的に進める際に助かっている。」「プログラミング教育を講師として教えてくださった。子どもたちは、教員から教わるよりも専門的な視点で学ぶことができたように感じられた。」といった感想が挙がっています。支援ということで、現場の先生の授業を第一に考え、一緒に考えるという姿勢が先生方のICTを活用した授業力向上にも寄与していると考えられます。</p> <p>9 ページ。ICT 支援員の効果的な活用について一例を申し上げます。日々進化するアプリケーションや機器について、学校側で研修会を自前で用意するのは大変困難であり、情報主任や ICT 教育主任の先生の負担が増すことは明らかです。学校の実態に合わせ、教師個人や、学年、学校全体に専門的な知見から研修や説明をしたり、ちょっとしたアドバイスをしたりするなどのサポートが、授業の質を担保する一助にもなっております。月に2回という回数も決められているため、管理職を中心に、ICT 支援員とコミュニケーションをとり、必要な研修や情報をサポートしてもらうことが、より効果的な活用につながります。</p> <p>10 ページ。はじめての端末利用やプログラミングといった授業では、特に児童生徒への支援も必要なため、スケジュールをあわせて実施することが効果的です。また、子供たちの ICT リテラシーも日々向上している中、教師がすぐに分からないことも専門的な知見により解決できるため、ICT 支援員さんが来校する日に、ICT に特化した委員会活動や PBL 等を組み込むことも効果的な活用として挙げられます。</p> <p>説明は以上となります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>この ICT 支援員というのはレッスンアドバイザーという事で授業に関する指導をしていらっしゃると思いますが、管理面について、個人情報オープンになっているのでしょうか。</p>

	<p>特に子供のデータの不適切管理が今、話題になっているので、その辺りを確認させてください。</p>
説明員	<p>御質問ありがとうございます。契約の中で守秘義務等もしっかり定めており、個人情報をもやみに持ち出す事がないように指導・監督もしております。</p>
委員	<p>現在は一校あたり月2回の年間24回で支援が実施されていますが、回数は妥当なのでしょうか。</p> <p>学校からの要望や、業務委託の費用も含めて説明していただけますでしょうか。</p>
説明員	<p>具体的にアンケートをとったわけではないのですが、現場からはICT支援員が多くいていただければ有難いという声を多く耳にします。ですので、今後は回数を増やして欲しいという声が上がってくるのかと思います。</p> <p>費用の面もありますので予算等も鑑みて月2回としています。学校には、この2回を大事に使っていただけるように、クラスを調整して上手く使っていただいているところです。</p>
委員	<p>実際には、ICT支援員は同じ人が各学校に行っているのですか。全ての学校で別々の人が行っているのですか。</p> <p>また、ICTに係る緊急のトラブルが学校で起きた時は、ICT支援員が何か関わることはあるのでしょうか。</p>
説明員	<p>担当学校が重複する方もおりますが、現在5名で各学校をまわっています。</p> <p>また、ICT支援員は基本的には事業支援やホームページ作成支援の所までで、機器トラブルについては委託業者や教育総務課所管の支援員が別におりますので、そちらで対応しています。</p>
委員	<p>専門的な人が学校に入っただけで学校はとても助かっ</p>

	<p>ていると思いますので、予算の範囲内で支援を手厚くして頂ければ助かります。よろしくをお願いします。</p>
教 育 長	<p>それ以外いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>ICT 支援員の業務で、授業支援と導入ソフト・周辺機器等の操作支援との大きく分けて二つあると聞きましたが、授業支援について質問します。教材の提案とか作成を支援する時に、先生と ICT 支援員でどのくらい話し合いできているのでしょうか。</p> <p>ICT 支援というと、いわばインフラとしての ICT を上手く使うように支援することと理解していたので、それをさらに教材提案や作成支援まで踏み込んでいるのか気になりました。その辺りはどのように考えているのでしょうか。</p>
説 明 員	<p>御質問ありがとうございます。</p> <p>おっしゃるように ICT を使う事に先生の意識が向いてしまう所があるのですが、我々としましても、使う事よりも学びをより深めるために活用することを大事にしています。</p> <p>そういった意味でも、ICT 支援員さんとの連携については、時間をしっかり確保して、こういう指導をしたいのだけれど、どんな手立てがあるかという事を ICT 支援員さんに聞くような形で教材を提案してもらう事が大切かと思います。</p> <p>またこの ICT 支援員は、他の委員から御質問があったように、同じ人が違う学校にも行きます。他の学校における指導に関する情報を適切に共有して頂いて、より良い指導に繋がれると考えております。</p>
委 員	<p>おそらくこういう事をやっている民間企業というのは多数あるかと思うのですが、現在の委託業者を選んだ理由は何でしょうか。</p> <p>プレゼンかなにかを实际やって、ここに委託するのが適切だという判断をなされたという事でしょうか。</p>

説明員	一般的な入札によって決定しました。こちらが条件を示して入札し、決定したという流れです。
委員	<p>こういう支援があるということは教師の負担を減らすという意味においては凄く良い事だと思います。</p> <p>しかし、支援を開始してから時間が経っているため、教師も技術を身に付けてきていると思うし、子供達はさらに身に付けていると思いますので、一番望ましい形は、委託しないで自分達で出来るようにすることだと思います。</p>
教育長	他には、いかがでしょうか。
委員	<p>前から市内各校の ICT 格差という話が上がっていると思うのですが、ICT 支援員には、ICT があまり活用できていない学校に多めに入ってほしいという気持ちもあります。</p> <p>配置のバランスはどうなっているのですか。</p>
説明員	配置のバランスは、各校同じように配置をしております。ただ、学校の中では ICT が得意な先生と得意ではない先生がいますので、主に得意ではない先生のところに多く支援に入るような形で、使っただけにいるかと思います。
委員	現場の声でも、新しい授業アイデアの相談等に親身になって乗ってくれるとありますが、これは月 2 回の定例の訪問の中でしか相談できないのか、それとも随時なにか連絡手段があって相談に乗ってくれる体制があるのかを教えてくださいたいです。
説明員	基本的にはその月 2 回の中でやり取りをするということになっています。メールやチャット等の整備が進んでいますので、できると良いと思いますが、それぞれ業務もありますので、月 2 回の中でやっていただいています。
委員	苦手意識のある先生もきつというと思うのですが、こういう相談体

	<p>制があると挑戦する意欲も沸き、だんだんと利用格差がなくなってくるかと思imasので、今後も期待したいと思imas。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほど委員がおっしゃっていたように、本来的にはこの支援制度はなくなってもいいのではないかと思imas。導入当初は ICT の創成期ということで当然必要だったのですが、今、先生方が自走できるような環境になりつつあります。ただ、ハード的な部分について、例えばネットワークや端末の調子が悪いというときには、ニーズがあると思imas。</p> <p>また、この授業支援についても、「深さ志向」という視点が大切です。ICT を積極的に使うことが目的化してしまい、授業を深くしていくというところに関心がなくなっていて、教材そのものが持っている本質を追求していくことが、だんだん薄れてしまうことを危惧してimas。</p> <p>そういう部分について、支援ができるような人がいればいいのですが、現状はそういう人を探すのは非常に困難です。いずれは教師自身ができるようにならなければいけないのではないかと思imas。ICT 支援員の在り方については過渡期を迎えているのではないかと思imas。</p>
<p>説明員</p>	<p>最終的なゴールはまさに ICT 支援員がいなくても教師が対応できるというところだと思imas。</p> <p>しかし、ICT は突然トラブルが起きることもありますし、ICT に慣れていない子供の支援という意味では、もう少し ICT 支援員の力を借りながら安定した授業を進めていくことも必要な段階かと思imas。</p> <p>あとは、教育長の最初の御挨拶の中にもありましたが、軽い授業ではなくて、深くて重たい授業をしていく中での ICT の活用というのが、</p>

	<p>これからキーになってくると思いますので、そこをしっかりと我々としても、情報共有して指導もしていきながら目指していきたいと考えています。</p>
教育長	<p>それともう一つ、私が危惧しているのは、学校ごとに自走し始めてデジタル教材に変わり、データの管理に係る取り組みをもう少し注意しないといけないと考えています。</p> <p>今のところ問題は出ていませんが、民間企業がデータを収集していて個人情報上問題ないのかということです。</p> <p>教育委員会で取り組んでいるものは問題ないにしても、各学校個別で行っているものには目を向けていかないと、いけないと思っています。</p>
説明員	<p>御指摘の通りだと思います。我々としても学校独自で導入するものについては、しっかりリスク管理をしていく必要があると思っております。</p> <p>幸い学校の方からも保護者負担の教材費等で導入するものについては、事前に相談がきちんとありますので、利用目的等をしっかり示すことや、個人情報の取扱いについてきちんと説明するように指導しております。</p> <p>今後もしっかり学校と連携・伴走しながら指導していきたいと思っております。</p>
教育長	<p>特にデータ利活用という視点からもう少し切り込んでもらい、注意深くみていった方がいいかなと思います。</p>
教育長	<p>続きまして、長道委員から御提案のありました「教育委員提案 デジタル教科書の実態と課題、有効性について」事務局より説明願います。</p>
説明員	<p>続いて長道委員から御提案のありましたデジタル教科書の実態と課題、有効性についてについて説明いたします。</p>

12 ページを御ご覧ください。まず、指導者用のデジタル教科書についてです。これらはすでに各学校に導入されておりますので、概要のみといたしますが、大型提示装置において主に教師が補助教材として提示して使用することにより、教科書紙面の拡大提示、練習問題の解答を表示、シミュレーションコンテンツや映像コンテンツなどを活用することができます。

指導者用デジタル教科書導入のメリットとしていくつかまとめました。まず、拡大機能を活用し、注目させたいところに子供たちの意識を確実に向けることができ、課題に注目させることができます。

また、フラッシュカード等のコンテンツの活用や既習事項の確認等、やりなおしたり、繰り返したりすることができることから知識・技能の定着につながります。さらに、思考力・判断力・表現力等の育成という観点では、映像資料や展開図、挿絵等、教科の特性に応じた資料を活用することで、児童・生徒の多様な考えを引き出したり、表現したりすることができます。

教師の働き方改革としては、資料を板書したり、拡大コピーしたりする必要がなく、ワークシート等も作成できるため、教材準備の時間を削減することができます。なお、今年度は小学校の教科書が新しくなっていますので、指導者用のデジタル教科書も入れ替えを行いました。

14 ページからは、学習者用デジタル教科書についてとなります。学習者用のデジタル教科書とは、1人1台端末で子供たちが使用するものとなります。15 ページに導入により期待されるメリットをまとめました。拡大縮小や共有、反転 音声読み上げなど、さまざまな機能により教育活動の一層の充実が図られます。また、動画やアニメーション、さらにはドリルなどと連携し、デジタル教材と一体的に使用することで内容の充実がさらに進むものと考えます。他方、特別支援の観点では視覚障害や発達障害の支援として、読み上げや文字の大きさの

調節、背景とテキストの色の変更を活用することもあります。

それではデジタル教科書を活用した学習方法について説明をしたいと思いますが、こちらに本市戸田東小学校が研究した、文部科学省が出している動画がありますので紹介をいたします。御覧ください。

17 ページが導入の実態ですが、令和 6 年度、国は小 5 以上の英語と、算数・数学を段階的に導入することにより、先ほど述べたような学びの充実や困難の低減を目指しています。戸田市では、英語はすべての小・中学校に提供、算数・数学は希望調整により、半分の小・中学校に提供しています。

18 ページ、使用実態です。授業中の様子においては、児童が一人一台端末を活用して、デジタル教科書を開き、学習しています。やはり補助資料などが充実しており、理解に時間がかかる児童生徒等の個に応じた学びや支援につながっています。また、練習問題やドリルなど補助教材が充実しているため、学びを広げたい児童生徒や力をつけたい児童生徒が、自主学習や家庭学習でも活用しています。

なお、ロイロノートなどの学習支援ソフトとの相性もよく、教科書の画面キャプチャをコピーして思考ツールに貼り付け、自分の考えのプレゼン資料を作成するなど、深い学びや多様な表現にも生かされています。

19 ページは小学校外国語の例です。児童は絶滅危惧種だと思ふ動物に○をつけます。ちなみに、○は手書きも図形挿入もできます。また、画面上のカメラマークをクリックするとクリップボードに自動的にコピーされるため、別タブで開いておいたロイロノートにそのまま貼り付け、提出箱に提出するといったことが可能です。自分と友達の回答を比較し、考えを深めるなどの活動につながっています。発言や挙手が苦手な児童も意見を表現し、共有することができます。また、写真も拡大できるので、細部まで観察ができます。

20 ページは市の英語教育推進委員会による活用の例です。学校間の

	<p>横の連携も図っております。</p> <p>21 ページは、学習者用デジタル教科書の課題です。より良い学習環境の構築のためには、端末の性能だけでなく、ネットワークの整備を整えていく必要がある点。デジタル教科書を効果的に活用した授業を行うためには、授業のどこで活用を図るのか等、教師の授業をデザインする力を高める必要がある点。デジタルの中だけでの学びにとどまらず、本物に触れたり、実際に自分で確かめたりするなどの、実感を伴った活動を意図的に計画していく必要がある点。浜田委員が以前におっしゃっていた健康面での懸念などが挙げられます。</p> <p>学習者用デジタル教科書については、引き続き研究を深めてまいりたいと考えております。説明は以上となります。</p>
教 育 長	何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	<p>説明ありがとうございました。</p> <p>デジタル教科書について、英語は小学校5年から中学校3年生までの学校に導入されているということでしたが、市の英語研究推進委員会によるものなのでしょうか。算数・数学は半分くらいしか学校に導入していないということですがこれも研究会の中で研究されているのでしょうか。</p> <p>また、いずれは算数・数学もすべての学校で導入したいと思っているということによろしいのでしょうか。</p>
説 明 員	<p>実際に研究会というよりも学校の方で研究者を置いて、一緒に研究している者がいた、というところですか。今現在は学校の方が導入したいところが希望で導入するかたちで、研究会のような組織で検討しているわけではありません。</p> <p>算数・数学については予算の兼ね合いもありますので検討していくというところになります。</p>
委 員	英語で良いので導入費用はどのくらいかかるのでしょうか。1校あ

	<p>たりどれくらいになるのでしょうか。</p>
説明員	<p>英語はデジタル教科書の機能自体が紙の教科書に付随しているの で費用をかけず全校導入できているという状況です。</p> <p>算数・数学は子どもの人数により教科書と別に費用がかかりますの で、教科書が無償であることを考えると費用が大きくなるという認識 です。</p>
委員	<p>かなり実態の進んでいる状況が見られて今後も教師が使っていく 機会が増えることを考えれば非常に有効かと思いました。</p> <p>単元のどこで活用するかという点はそれぞれの教師によって考え 方も違うでしょうし、どちらにせよ教師のデザイン力と指導力の力を つけてもらうために教育委員会として力を貸していただきたいと思 います。</p>
教育長	<p>他の委員からも御意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>最後の所で、ネットワークを整備していく必要があると言っていま したが、それをまさに感じているところです。</p> <p>先日、子どもの授業参観に行った際、最初にネットワークになかな か繋がらず、時間がどんどん進んでいくのをハラハラしながら見てい ました。使えない時間があるともったいないので整備する必要がある と感じています。</p> <p>また、説明の中でハイライトなどを書き込める機能があったと思 いますが、先日デモンストレーションで使わせていただいた際に練習問 題の方には書き込めないということでした。やはり実際に問題を解く 際にも書き込めるというのは必要な機能だと思うので今後意見など 挙げられて書き込めるようになったら良いと思いました。</p>
委員	<p>綺麗で使い勝手が良いと思ったのですが、色覚異常の子が一定数い るので、配慮はどのくらいしているのかが気になりました。デジタル</p>

	<p>だけではなく紙もそうですが、わかりやすい色にする、色の数を増やす等の配慮がされているかお話していただきたいです。</p>
説明員	<p>ありがとうございます。色については教科書会社もかなり配慮していて、カラーユニバーサルデザイン等を使って見やすい色分けがされています。そちらがそのままデジタル教科書の方にも反映されますので引き続き配慮はなされていると思います。</p> <p>また、教師の独自の対応としましては色の見え方がどうなるかがわかるアプリ等もありますので見易い色の使い方を研究しながらその子にあった配慮をしていく、というようなことは担任レベルからやっているかと思います。</p>
委員	<p>すごいな、という一言です。</p> <p>文房具が単なる文房具ではなく、強力な文房具になったと感じました。これをいかに使いこなすかが学びの進化に結び付くのだろうという気がします。改めて凄い時代です。大いに活用して学びの領域を広げ深めていくことのできる非常に強い武器が、目の前まできている実感がしました。</p>
教育長	<p>こういうものは、光が当たれば当たるほど、影も濃くなるのですよね。では、影の部分は何かというと、書く力がどんどん落ちてしまうことだと思います。</p> <p>学生はあっという間に長文を作成できるようになってきていますが、ロジックを明確にして箇条書きに物事をまとめるという力は落ちていると言います。戸田市が取り組んでいるリーディングスキルと共に、書くという指導も、改めて目を向けていく必要性を感じています。アナログがいい、デジタルがいいという問題ではなくて、自分なりに書いてまとめていくという力の育成は今後の課題だと思います。</p>
委員	<p>コンパクトにまとめて要旨をしっかりと把握していくというのは、すごく弱いですね。だから、要点はどこですか、と聞き直すと詰まり</p>

	<p>ます。やはり今おっしゃったように、常に書いて頭をまとめることが大事です。今の小学生はパソコンに入れながらまとめているのでしょうか。</p>
教育長	<p>それはできていないのではないのでしょうか。</p> <p>この間、中学校でタブレットを1台ではなく、2台欲しいと話ができました。記録用のタブレットと、閲覧用のタブレットがないと自分なりにまとめられないとのことでした。</p> <p>画面に書き込むということはやっているけれど、自分なりの考え方をテキストでまとめていくという作業は、意図的にやっていかないとスキルが低下するというのは、学校訪問を見ていて感じているところです。</p>
委員	<p>あと、もう一つ、デジタル教科書を使っている時に、俯瞰的に流れを追うというのが苦手になっています。目の前に画面がパッパッと出てくるので、その場その場のものはあるのですが、流れとして全体を眺めて、それを自分はどう考えるという俯瞰する力が弱くなっていくという心配はあります。</p>
教育長	<p>活字の本だと、なんとなく追っていきながらストーリーを理解することができますが、デジタルだと難しいですね。書くと共に、俯瞰するということは課題になるのではないかと思います。</p>
説明員	<p>教育長のおっしゃる軽い授業はまさにその通りだと思います。子供の頭の中でどういう思考で物事、授業をとらえているかをやはり子供主体で考えていかないと本当の意味での学びに繋がらないと思います。</p>
教育長	<p>今の次長の話聞いていて、もう1つ課題としてあげられるのが、わかったつもりになって簡単に納得できてしまうところです。</p> <p>例えば、算数でいえば、立体の切断や回転はシミュレーションで簡単にやられたら、なるほど、わかったとなりますが、実際に自分で頭</p>

	<p>の中で切断してみてもといわれたら簡単にはできませんよね。デジタルだと簡単にわかったつもりになってしまうのです。わかったつもりにさせないように教材の本質を理解するような指導も必要かと思えます。</p>
教 育 長	<p>それでは以上を持ちまして教育委員提案を終了いたします。</p> <p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして3件の報告がございます。</p> <p>学校総合体育大会二市大会の結果及び県大会出場種目について</p> <p>郷土博物館開館 40 周年記念 第 30 回企画展の開催について</p> <p>その他</p> <p>資料 No.2 に基づいて、詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
説 明 員	<p>報告事項 「学校総合体育大会二市大会の結果について」報告いたします。1 ページが今年度の部活動の結果でございます。二重丸が県南大会出場、黒丸が県大会出場の部活動となります。</p> <p>上から陸上部は昨年度に比べ県大会出場者が増え、全校から出ております。ソフトテニスや卓球は昨年度より該当が増えております。学校としては新曽中が大きな成果を残しております。なお、戸田中のボート部の状況については、情報が入り次第御報告いたします。各学校、中学3年生は、これで部活動が終わり、2年生を中心とした新たな活動がスタートしているところとなります。</p> <p>報告は、以上でございます。</p>
説 明 員	<p>報告事項 「郷土博物館開館 40 周年記念第 30 回企画展の開催について」御説明いたします。</p> <p>資料 2 ページでございます。</p> <p>戸田の地域には、時代を超えて人々が長い間くらしの中で語り継いできた、多くの昔話や伝説、わらべうたが残されています。</p>

	<p>今回の企画展では、郷土戸田で語り継がれてきた昔話や伝説などに親しんでいただくとともに、その魅力を次世代の子供たちにも伝える機会として、『戸田のむかしばなし』の原画を中心に展示し、戸田の昔話や伝説などの世界を紹介するものでございます。</p> <p>期間は、8月1日(木)から9月1日(日)までの31日間です。</p> <p>戸田の昔ばなしとわらべうたを楽しむ会等の関連事業を含め、40周年を盛り上げる企画展になります。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	報告事項 その他 について、事務局から何かございますか。
事 務 局	特になし。
教 育 長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	二市大会というのは、蕨市と戸田市ということですか。
説 明 員	はい。
委 員	表に順位等が何も入っていない種目の部活というのは、出場したけれど順位が付かなかったのですか。
説 明 員	二市大会から県南大会や県大会に行ったところをまとめさせていただいています。
教 育 長	<p>蕨市3校と戸田市6校の計9校の中で勝ち上がった部活がここに書いてあります。そして、草加市を交えた県南大会という大会に行くのですが、そのハードルが高いというのもあります。</p> <p>特に去年と比べて、成績が落ちているとかとそういうことでもないですね。</p>
説 明 員	昨年度も定例教育委員会で委員から部活動方針を定めて結果はどうなっているのか御質問いただいたかと思えます。

	<p>今年も、昨年度に比べて上位大会に進む出場数は増えておりますので、時間をしっかりと守っている中でも結果は伸びていると思っております。</p>
教育長	<p>そうとう活動時間は絞られているのでしょうかけれど、それなりに成績を維持していて、むしろ上がっているものもあるということですね。</p>
教育長	<p>それでは次の報告事項 郷土博物館開館 40 周年記念 第 30 回企画展の開催について、いかがでしょうか</p>
各委員	<p>特になし。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>少し気になっていることは、この昔話の原画は相当古くなっていると思います。NHK などは昔のオーケストラの演奏を 4K 対応や 8K 対応にリニューアルしています。せっかくならば戸田の昔話の画像を後世に残すためにも思い切って 8K 対応にリニューアルさせるみたいなことも今後考えていいのかなという気がします。</p>
教育長	<p>それでは次に、次第の 6 その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>次回、教育委員会定例会の日程ですが、8 月 22 日（木）午前 9 時 30 分からの開催について、お伺いいたします。</p>
教育長	<p>次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>了承</p>
教育長	<p>それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次にその他ですが、事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>特になし。</p>

教育長	委員の皆様から次回以降の教育委員提案のテーマについて何かございますか。
委員	<p>私の方からは、2点お伺いさせていただければと思っています。</p> <p>1点目は校外学習と普段の授業とのバランスについて、教育のバランスをどのように取っていて今後どのようになっていくのでしょうか。先生方の負担の問題も、子供や家庭の負担もあると思いますのでお聞きしたいと思います。</p> <p>2点目は、部活動の外部委託という動きがあり、戸田市も少しずつそれが進んでいるという報告は受けましたが、さらに今日的にどういうふうにそれが継続されているのか、特に地域移行、外部移行に対して、どういうふうな考え方で実際に進んでいるか現在の進捗を聞かせていただければと思います。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>1点目の校外学習については、いわゆる学校行事ではなくて、あくまでも校外学習に限定して、その実数やカリキュラムにおけるバランスということで合っていますか。</p>
委員	結構です。
教育長	<p>それから2点目の現在進めている部活動の地域移行については、かつてこの提案の中でも報告していますが、その後の進捗についても報告をお願いしたいと思います。</p> <p>どちらも教育政策室をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>学校ではICT等を積極的に活用して、かなり授業が変化していますが、実体験や自然体験というのはとても重要なことだと思います。学社連携など含めて特に彩湖自然学習センターでは非常に成果を上げていると思うので、その活用状況や実態をもう一度説明をお願いしたいと思います。</p>

教育長	これは生涯学習の学社融合の視点と、学校教育側からのそれを活用した教育課程や学びの様子という視点を合体させたものを教育政策室と生涯学習課から報告してもらえればと思います。
委員	戸田市でも小中学校については制服の自由化とか進めているところですが、ジェンダーフリー教育についての現況と今後ということについてお答えいただければと思います。
教育長	はい。こちらも教育政策室でお願いしたいと思います。
委員	<p>先日高知県の先生の勤務実態に関するアンケート調査で、産休で休みはじめた日に代わりの先生が配置されていなかった事例が多くあったというニュースを見ました。</p> <p>戸田市の教師の平均年齢も、どの学校でもとても若いということで、産休育休問題というのが避けられない問題だと思いますし、育休明けに帰りづらいような人間関係と職場環境だと、離職につながる可能性もあります。妊娠出産に関しては、本当に当人でないとわからないことが多いと思うので、よく話を聞いてくれるような職場だとありがたいなというふうに思います。</p> <p>戸田市の学校での、妊娠期から産休育休の先生へのサポート体制や、あとは学校や教育委員会として、産休育休の代わりの教師の先生の工面などの具体的な対応策を教えていただけたらなと思います。</p>
教育長	こちらは学務課でお願いします。何か補足でありますか。
説明員	今お話しいただいた、産休の女性の先生の意見と併せて男性のパパ育といわれているものもありますので、学務課の方から報告させていただきたいと思います。
教育長	それでは「報告第4号から10号及び議案第19号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に係る職員以外は退席願います。

	【報告第4号から10号及び議案第19号を議決して閉会】

	以上のとおり会議の経過及び結果を記し、相違ないことを証するため署名する。
	令和6年8月22日
	教 育 長
	教育長職務代理者
	委 員
	委 員
	委 員
	書 記